

倫理規程

（基本理念）

一般社団法人日本樹木医会（以下「本会」という。）の会員は、環境の保全を使命として常に識見の向上、技術向上等の自己研鑽に励み、併せて法令、定款及びこの倫理規程を遵守するとともに誠実かつ謙虚を旨として行動し、もって社会貢献に努めるものとする。

（人格及び道德心の向上）

第1条 会員は、常に教養を深め人格を高めるよう努めるとともに、道德心の向上に努める。

（自己研鑽の遂行）

第2条 会員は、常に樹木保護・育成等の知識と技術の向上に努める。

（専門技術者の自覚と行動）

第3条 会員は、専門技術者としての職責を自覚して誠実に業務を行い、不確実な知識と技術により業務を行い、あるいは指導することはしない。

（信用失墜行為の禁止）

第4条 会員は、本会及び他の会員の信用を傷つけ、あるいは不名誉となるような行為をしない。

（秘密保持義務）

第5条 会員は、正当な理由又は当事者の許可なく、その業務に関して知り得た秘密を他に漏らすことはしない。

（名称表示の場合の義務）

第6条 会員は、会員の名称を表示するときは正会員、賛助会員等の別を正確に表示するものとし、また、本会の名称をみだりに使用しない。

（明確な契約行為の実施）

第7条 会員は、業務を受けるに当たり、事前に相手方に自己の立場、業務の内容と範囲等を明示して契約を締結し、当該業務遂行のうで両者間に紛争が生じないように努める。

（業務の報酬）

第8条 会員は、従事する業務を公正に行い、不当な額の報酬を請求しない。また、利害関係のある第三者から不当な手数料、その他これらに類するものを受け取らない。

（誇大広告の制限）

第9条 会員は、業務に関して確かでない効果及び成果を誇大に広告しない。

（会員相互の信頼関係保持）

第10条 会員は、会員相互の信頼関係と相手の立場を尊重し、他の会員の業務を妨げるような行為はしない。

(他の専門家等との協力)

第11条 会員は、業務に役立つ知識・技術等について進んで他の会員、学識経験者、研究機関等に協力を求め、また協力するよう努める。

付 則

この規程は、平成21年7月1日から施行する。